

ビジネスアイデアの概要

インバウンド拡大と慢性的な人手不足により、ホテル客室整備は運営上のボトルネックとなっている。同様に、施設管理・清掃・軽作業物流など隣接領域でも深刻化している。この課題を解決するために、ホテル客室整備（リネン分別・アメニティ補充等）を初期ターゲットとし、モバイルマニピュレータと生成AI・対話型模倣学習を組み合わせた生成AIロボットの事業化を目指す。隣接領域への適用可能性も並行して調査する。

ビジネスアイデアを事業化するための課題

- 対話型模倣学習とControl Barrier Functionを活用した生成AIロボットのプロトタイプ構築
- 宿泊業および隣接領域（ビルメンテナンス・軽作業物流等）へのヒアリングとROI比較による、最適市場とファストカスタマーの見極め
- 検証結果に基づくビジネスモデル設計と、実地実証に向けた共同パートナー開拓

事業化の見通し

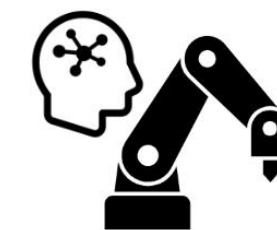
NEP期間中に、客室整備タスクのプロトタイプと人手削減・安全性・運用適合性の定量評価レポートを完成させ、あわせて隣接領域への適用可能性マップを整理する。

- フェーズ1: 客室整備でのMVP完成
- フェーズ2: 類似業務（リネン処理・ビルメンテ等）への拡張検証
- フェーズ3: 汎用Physical AIプラットフォーム化を通じた事業化を目指す。

事業者情報

有福 遼太郎

ビジネスアイデア概要図等



生成AIロボット
(Physical AI)



ホテル客室